

東京電力／福島第一原子力発電所の緊急事態に伴う
静岡県内の環境放射線等測定結果(第15報)
(平成23年3月22日17時現在)

文部科学省からの要請に基づき、静岡県の環境放射線の測定を実施しております。
また、18日から水道水と降水物の放射能測定を開始しました。
測定結果は次のとおりです。
水道水及び降水物の放射能測定で微量の放射性物質を観測しましたが、健康への影響を心配する必要がないレベルです。

1. 3月22日9時から3月22日17時までの環境放射線の測定結果

【測定場所：静岡市葵区北安東】

この時間帯、過去の変動幅 28.1～76.5 nGy/h (ナノグレイ毎時) を超過した値は観測されませんでした。

時間	測定値(nGy/h)	備考
9:00～10:00	63.5	
10:00～11:00	60.9	
11:00～12:00	60.5	
12:00～13:00	56.5	
13:00～14:00	52.7	
14:00～15:00	50.1	
15:00～16:00	48.9	
16:00～17:00	48.3	

- ・ 過去の変動幅 28.1～76.5 nGy/h (ナノグレイ毎時)
- ・ 宇宙線 (宇宙からの放射線) の影響を除いた値です。
- ・ 1 nGy/h (ナノグレイ毎時) \div 1 nSv/h (ナノシーベルト毎時)
- ・ 1 nSv/h (ナノシーベルト毎時) = 0.001 μ Sv/h (マイクロシーベルト毎時)
= 0.000001 mSv/h (ミリシーベルト毎時)

2. 3月22日採取の水道水の放射能測定（核種分析）結果

【試料採取場所：静岡市葵区北安東】

福島第一原子力発電所の影響と思われる極微量（0.14Bq/kg）の放射性のヨウ素131が検出されましたが、この値は飲食物摂取制限に関する指標値（300Bq/kg）の約2000分の1以下であり、健康には全く影響がない値です。

また、この濃度の水道水を1年間飲み続けた場合の被ばく線量は、0.002mSv（2 μ Sv）程度であり、1年間の被ばく線量限度1mSvと比較しても500分の1程度です。

【検出された放射能濃度】

ヨウ素131 : 0.14 Bq/kg（ベクレル毎キログラム）

セシウム137 : 検出されず

3. 降下物の放射能測定（核種分析）結果

【試料採取場所：御前崎市池新田】

採取期間：3月21日9時～3月22日9時

福島第一原子力発電所の影響と思われる放射性物質が検出されましたが、これらの放射性物質による空間線量率の増加は、解析の結果、約0.00002mSv/h（約0.02 μ Sv/h）でした。これは、降雨に伴う地表面付近の天然放射性物質の増加に伴う空間線量率の上昇と同じ程度であり、健康には全く影響がない値です。

【検出された放射能濃度】

ヨウ素131 : 200 Bq/m²（ベクレル毎平方メートル）

セシウム134 : 72 Bq/m²（ベクレル毎平方メートル）

セシウム137 : 72 Bq/m²（ベクレル毎平方メートル）

・ Bq(ベクレル) : 放射能の量を表す単位